

28 スリランカ

日ス友好橋拡張事業



本事業により建設された新・日ス友好橋

[借款概要]

承諾額/実行額	2,929百万円 / 2,164百万円
借款契約調印	1993年8月
借款契約条件	金利2.6%、返済30年（据置10年）
貸付完了	2002年1月

[事業概要]

コロンボ市街を横断するケラニ河に架かる老朽化したビクトリア橋を撤去し、既存の日ス友好橋と同タイプの橋梁（「新・日ス友好橋」）を建設し、増大する人・物流の増加と交通混雑に対応しようとするもの。

[評価結果]

本事業では、渡河交通量の予想以上の増加に対応するために、建設中に事業範囲が拡大され、「新・日ス友好橋」が計画時の片側2車線（計4車線）から拡張され、片側3車線（計6車線）で建設された。また、既存の日ス友好橋（片側2車線）も片側3車線（計6車線）に車線増幅された。

実際の渡河交通量は、ほぼ予測通りの数値（予測119,456台/日に対し実績117,431台/日）となっており、本事業は期待された効果を発現し、増大する渡河交通量を下支えしていると言える。

周辺市町村や運輸業界への聞き取り調査では、交通渋滞が解消されたことにより燃料が節約された、市郊外からコロンボ港への所要時間が1時間ほど短縮された、騒音や大気汚染、また交通事故が減少した、などの報告があった。

橋梁の維持管理上、特段の問題は生じていない。